

会社名

株式会社CogSmart

氏名

代表取締役 樋口 彰

自社概要

東北大学発医療テックSU
「海馬の見える化」から、
「海馬の育成」を通じた
「脳からはじめるヘルスケア」の提供

来場者へ
メッセージ

脳から、社会を変えていく。

CogSma

1. 株式会社CogSmart（コグスマート） 会社概要

基本情報

| | |
|-----------------|--|
| 大学発SU | 東北大学 加齢医学研究所発 健康長寿 テック・スタートアップ |
| 子会社 | CogSmart Asia Limited（香港） |
| 主な受賞歴 (2025) | <ul style="list-style-type: none">AMED「介護テクノロジー社会実装事業」米国“Biomedical Pitch Competition 2025”にて“Innovation Award”受賞 |

代表取締役



CEO 樋口 彰

弁護士（日本・英国）
東北大学 分野研究員

企業法務 法律事務所にて約10年執務後、ヘルステック企業の幹部等を経て創業。

官僚として政策立案や英・豪・香港での執務経験あり

日本認知症学会 若手の会「最優秀プレゼンテーション」受賞（2025）

事業内容・方向性

“**海馬育成**”での認知症・介護予防(＝健康長寿)の“**産業化**”

検診サービス
(見える化)

海馬AI解析
「**BrainSuite (ブレインスイート)**」



介入サービス
(改善)

海馬育成化アプリ
「**BrainUp (ブレインアップ)**」



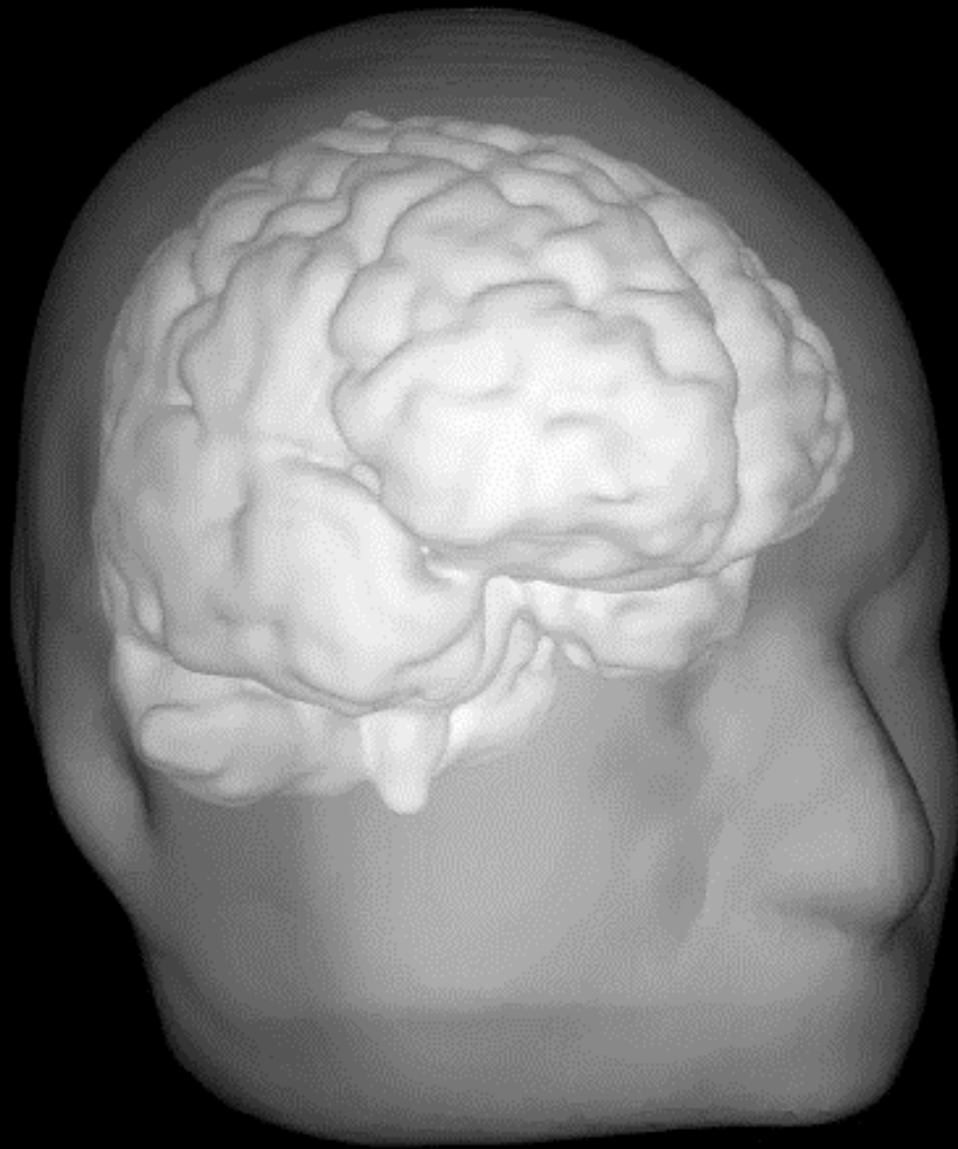
CSO 瀧 靖之

東北大学 教授
医師・医学博士

脳医学分野での日本を代表するKOL。研究室では50名余の研究員を率い、各分野で脳医学分野の発展に貢献

- 1. 研究**：大規模な脳画像データベースに基づいた脳研究
- 2. 臨床**：東北大学病院 加齢老年病科
- 3. 産学連携**：20超企業

海馬（かいば）への着目



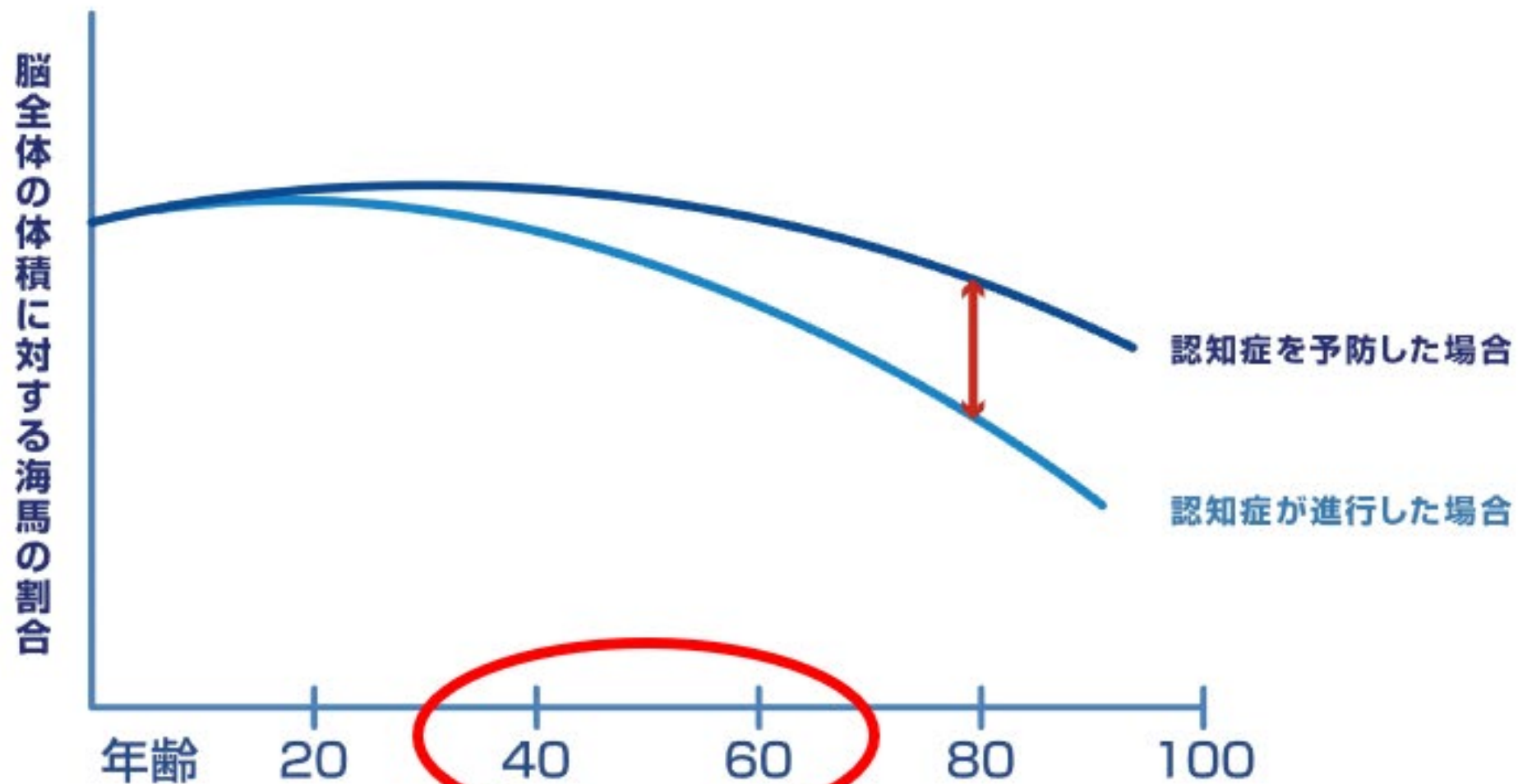
保護因子

- 運動・身体活動
- 適度な睡眠
- バランス良い食生活

危険因子

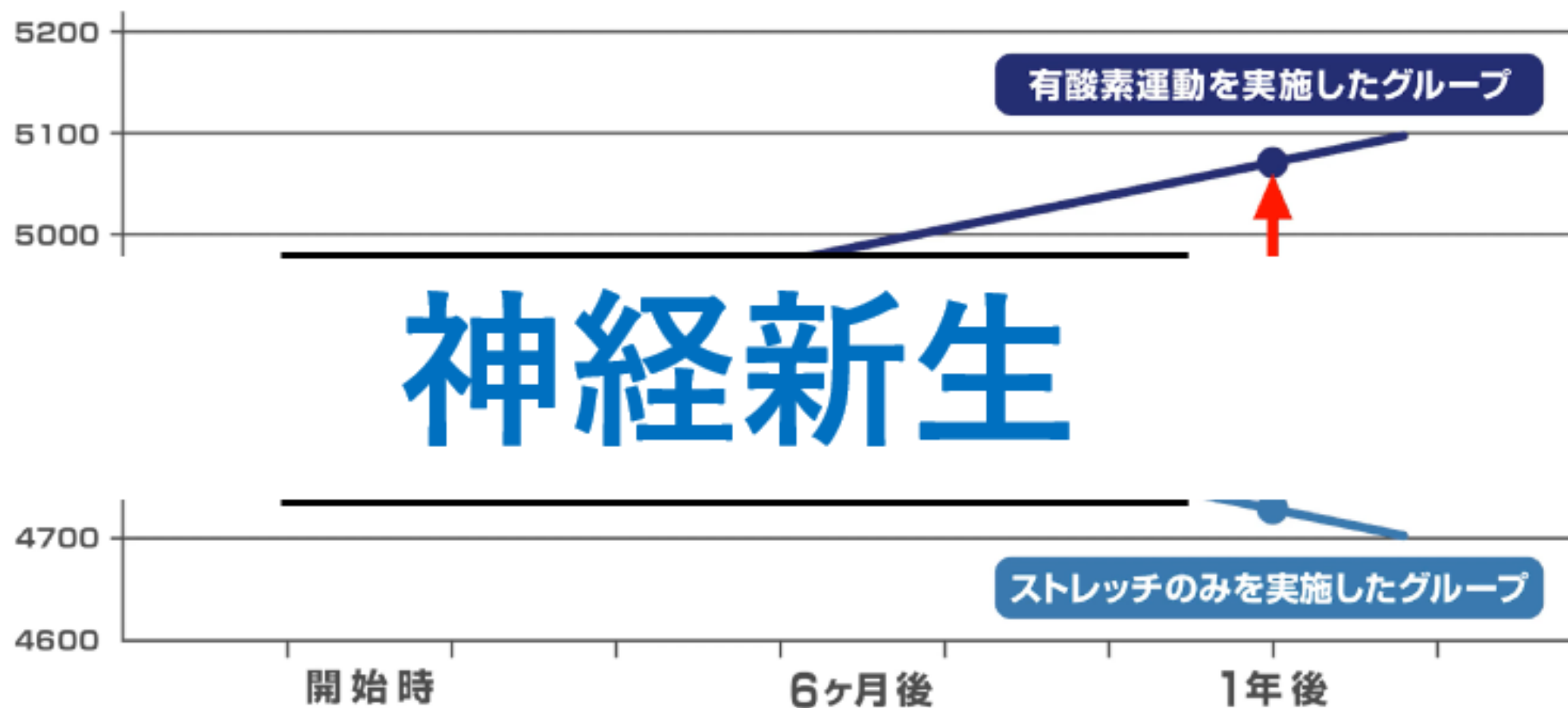
- 肥満
- 睡眠不足
- ストレス
- 飲酒
- 喫煙

加齢と海馬の萎縮



出典: P. Scarpini et al., Scientific Reports, 2019. より引用改変

運動介入による海馬体積の増加 左海馬



神経新生

出典：K Erickson, et al., PNAS, 2011. より引用改変

海馬の“可視化”AI + “育成”アプリ

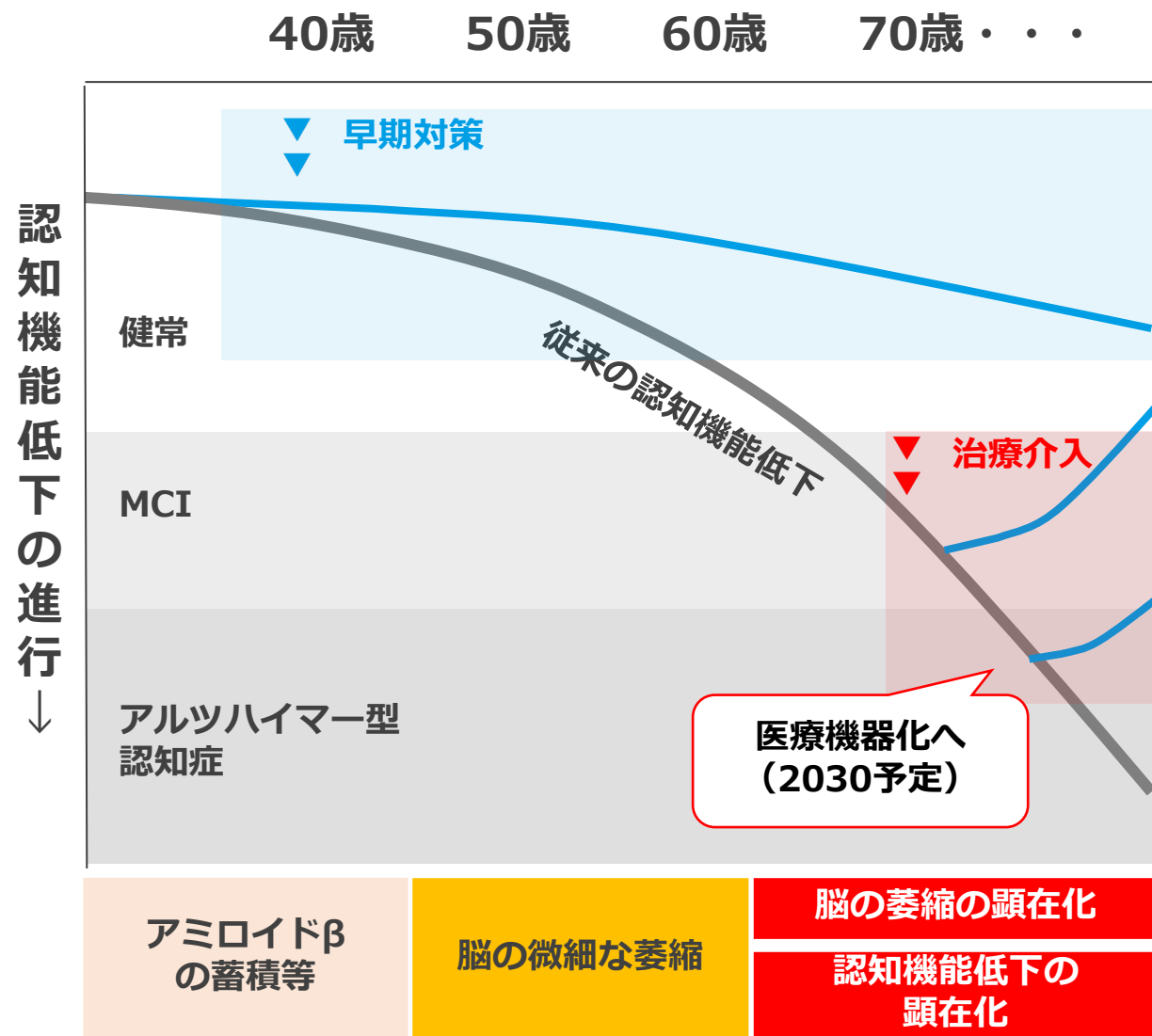


連携ステークホルダーへ高い価値提供



“稼げる” 認知症・要介護の予防事業へ

3. ソリューション：「海馬の育成」を通じた“見える化” × “改善”



BrainSuite ブレインスイート

140
施設で
採用

脳MRIのAI解析による
海馬体積測定検査
価格：15,000円（税抜）～

「見える化」による
行動変容の契機に



世界トップクラス
画像解析AI技術

Oxford大学チーム
“全データセットに
て、各指標で優れ
たパフォーマンス
を示した”との評価

(Sghirripa S et al, 2025)



BrainUp ブレインアップ

認知機能・身体機能
改善アプリ

実効的な
「海馬の育成」へ



「改善効果を
届ける」アプリ

健康長寿
(Longevity)
エビデンスを構築

次スライドへ

2022年4月15日解析結果 ID: XXXXXXXXXXXX 02

あなたの海馬

オックスフォード大学等の研究チーム
(2025年)

10 の著名な海馬計測ソフトのうち
“あらゆるMRIデータセットで
各指標で高い性能”

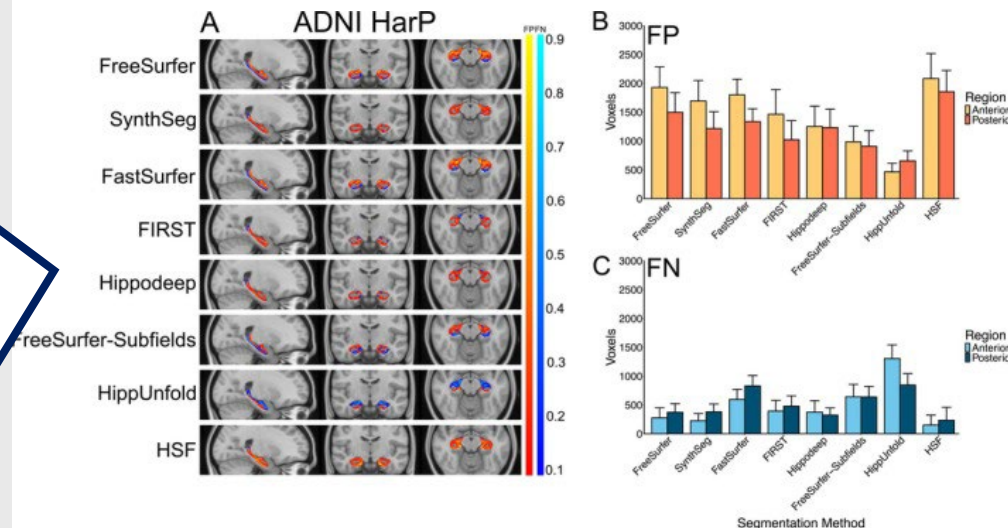
世界トップクラスの高精度・高速度AI

HUMAN BRAIN MAPPING

▶ Hum Brain Mapp. 2025 Mar 27;46(5):e70200. doi: [10.1002/hbm.70200](https://doi.org/10.1002/hbm.70200)

Evaluating Traditional, Deep Learning and Subfield Methods for Automatically Segmenting the Hippocampus From MRI

[Sabrina Sghirripa](#)^{1,2,✉}, [Gaurav Bhalariao](#)^{3,4}, [Ludovica Griffanti](#)^{3,4}, [Grace Gillis](#)⁴, [Clare Mackay](#)⁴, [Natalie Voets](#)³,
[Stephanie Wong](#)⁵, [Mark Jenkinson](#)^{1,2,3}; For the Alzheimer's Disease Neuroimaging Initiative



クライアント **140** 医療機関 ↗

BrainUp



“海馬” 育成アプリの特徴

⇔ 従来の健康アプリ

1

「中強度」運動の可視化・自動記録

⇔ 歩数の自動記録 /
アプリへの手動記録

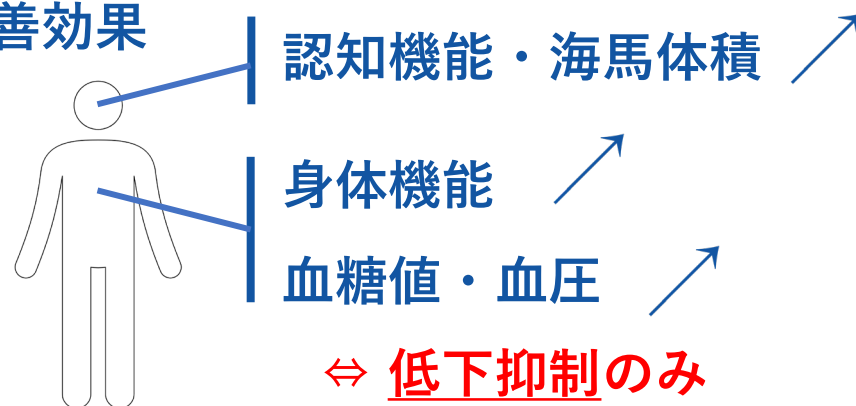
2

コンセプト「好きな運動・活動を
好きな時間に 好きな場所で」

⇔ 散歩・ジョギング

3

改善効果



認知機能・海馬体積

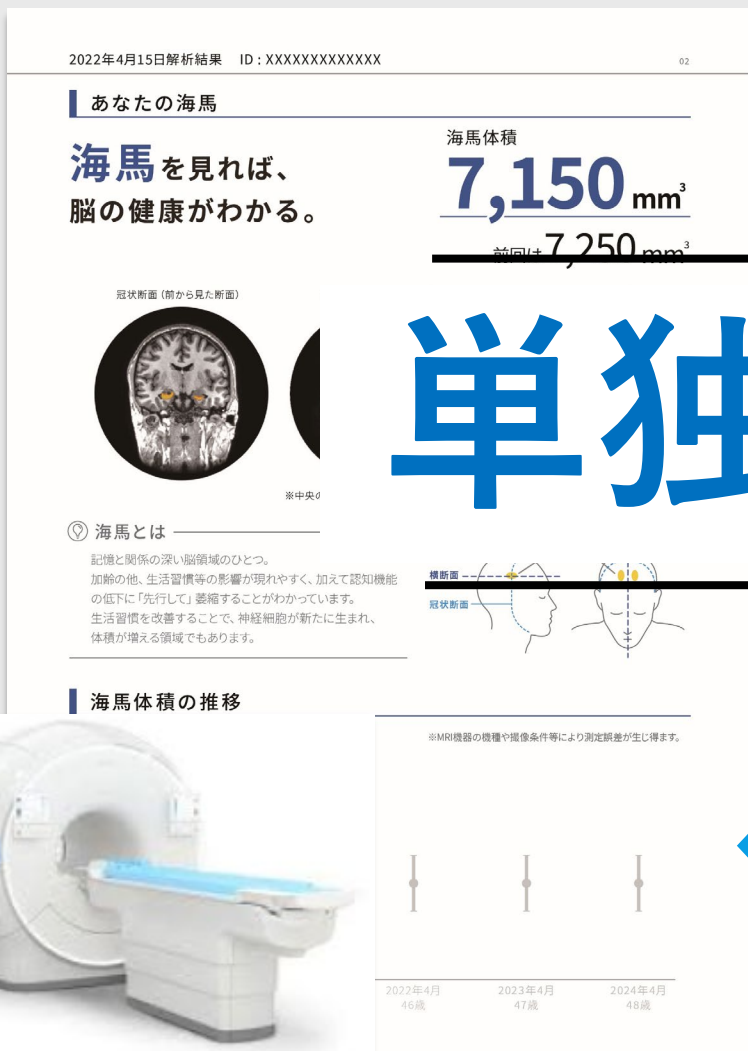
身体機能

血糖値・血圧

⇔ 低下抑制のみ

単独利用も可

効果測定





<東京都 多摩エコ事業 1年目（2024年～）>

“ CogSmart × （医療機関＋事業者） × 自治体 ” 三鷹市での総合的実証事業①

普及・啓発

気づき（自分ごと）

運動介入（6-8か月間）

ビラ等配布▶



脳のキレ
海馬を育てる

▼イベント



脳の健康
チェック
by NTTドコモビジネス



電話による
AI認知機能チェック
⇒ 予防行動への
気づき

BrainUp（ブレインアップ）
中強度の運動・活動



好きな運動・活動を
好きな時間に
好きな場所で

ウォーキング ジョギング
サイクリング 各種スポーツ
ラジオ体操 太極拳 ダンス
孫との遊び 犬のさんぽ 園芸・農業
カラオケ等のレクリエーション

アウトプット（何をした？）

中強度の運動・活動時間(平均)
40～74歳：153.6分/週
75～89歳：241.1分/週

運動や階段歩きの効果が
目に見える形になって、
自分の中でルーティン化



結果が目に見えるので、
運動の張り合いが出て、
楽しくできた



アウトカム（効果は？）

統計的に有意に改善・増加

- 認知機能
- 海馬体積（少し）

- 身体機能
 - 筋肉量（※）
- ※ 75～89歳（平均）
33kg ⇒ 37kg

⇒ 健康寿命の延伸へ

中長期？

続ければ
医療費・介護費削減に
なる？

↑
30万円／
人・年の
削減効果
ありと複数の
研究

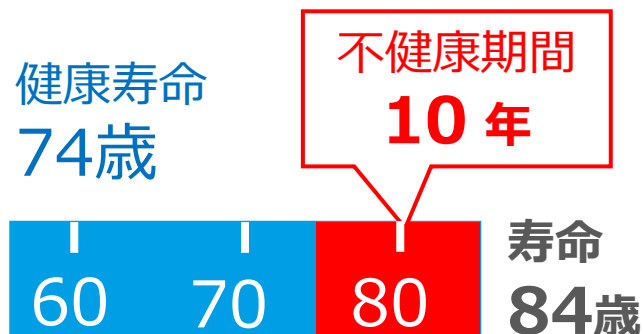
6. Purpose（我々が実現する世界）とValue（そのために私たちが提供する価値）

脳医学とテクノロジーの力で 誰もが健やかに、そして心豊かに暮らせる社会を作る

我々が提供するValue - 「三方良し」の実現

① 個人レベル

“健康寿命”の延伸
→ 不健康期間を限りなく0へ



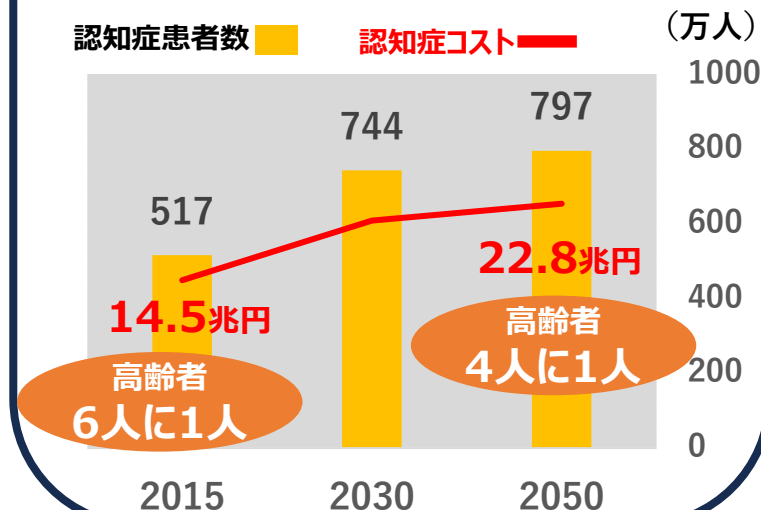
② 事業者レベル

価値あるシニアサービス普及
→ 全国・地域の経済循環



③ 社会レベル

増加する認知症患者の抑制
→ 次世代へ引き継げる社会へ



皆様とともに、脳から社会を変えていく。

CogSma